

- 一、暴壓諸法令の改廢!
- 一、失業者の生活保証!
- 一、自主的船員保險法の制定!
- 一、港灣労働者保護法の制定!
- 一、反動諸勢力の粉碎!
- 一、九軌の電灯、電力料を値下げせよ!
- 一、労働階級の實費診療所を設置せよ!

濱田、松岡正副議長座談會

1、濱田議長の座談會

永く西下を豫報されてゐた日本労働組合會議々長濱田國太郎氏が日本海員組合長崎支部の結成を機して愈々西下されたので九州地方協議會は「産業と労働の統制」に關し齋藤前首相へ要請した建議の内容を中心として、昨冬十二月十五日東京會館で日本労働組合會議主催の勞資懇談會に於ける「産業労働統制の建議」に對する政府要路の大官、學者、専門家、政黨の領袖、代表的資本家達の意見並に最近の組合會議の諸情勢、労働運動の全国的動向等を聴くために、加盟団体と相圖つて、七月五日午後六時より八幡市大谷會館に於て座談會を開催した。

當夕相會する九州地方協議會加盟団体代表者八十名、さゝやかな夕食を共にし乍ら濱田議長より二時間に亘る諸報告を受け、懇談會に同十時散會した。

2、松岡副議長歡迎座談會

製綱小倉労働會館落成式へ出席のため西下した松岡日本労働組合會議副議長の歡迎を兼ね、組合會議最近の情勢に就き單なる事務的報告では徹底しかねる機微な諸問題に就き細密なる報告を乞ふため、九州地方協議會は九月三十日正午より小倉市京町ライオン食堂に於て歡迎座談會を開催し、加盟各団体より夫々代表者四十名出席、極めて和氣霽々裡に懇談三時間、中食を共にし、一同歡を盡して同四時散會したが、かゝる懇話的座談會を通じ、加盟団体の融和、親睦を益々緊密化す上に於て甚

委員長の熱烈なる協力を得て、債權會社と交渉し、昨年十二月圓滑解決、船員の給料支拂を完済して所屬船舶を動かせ該兩社の事業を續けられるように處置した。

北九州の一角で、健實なる労働組合を無視し、事毎に反労働組合の方針を持ち傲慢、頑迷を以て鳴る戸畑港の共同漁業會社は日本産業株式會社へ併合以來、この傾向を更に露骨に強化して來たので従業員の不満は刻々に擴大されてゐたが遂に本年十月、日本港灣従業員組合戸畑水産支部は決然立つて共同漁業當局に待遇改善の要求を提出、交渉旬日に及んだが、會社當局は益々頑迷にして省みるところなく、従業員の總意を踏みにじつて却つて反労働組合行動を露骨化したので、港從戸畑水産支部は止むなく停船指令を發し争議を以て應戦した。指令一下戸畑港に停船するもの五隻、旅順、大連港にも停船續出し、出漁中の船舶も最寄港へ續々入港する形勢となつたので共同漁業當局も流石に狼狽、九州地方協議會加盟団体の全線的應援の體備は完成してゐたが、遂に土田九州地方協議會委員長の熱誠なる斡旋に依つて圓滿なる解決に至つた。

▲製鐵所々屬船員待遇改善要求

日本製鐵株式會社八幡製鐵所所屬船舶乗組員の待遇改善に關し、乗組船員が十數項目に亘つて改善要求を決議してゐたので本年六月伊藤書記長は久保田長一郎委員と共に製鐵所當局を訪問し、所屬船舶乗組員の待遇改善要求決議項目の實施に就き海運課長と交渉したところ、該要求決議の内容は製鐵所當局としても充分研究しており、所屬船員の懇談機關に於ても既に主張されてゐるところで、これが實施は當然であると認めてゐるところであるから、當局に於ても可及的速かにこれを實現する準備に努めてゐるとの誠意ある回答を受けたので、伊藤書記長、久保田委員も製鐵所當局の誠意を了として引き揚げた。